新UI対応マニュアル

インボイス制度の対応方針について

本資料は、作成日現在の状況を基に作成したものであり、
記載の内容、名称等が変更される場合があることについてあらかじめご了承願います。
※SAP Business Network（旧Ariba Network）は本資料では「SBN」と記載いたします

株式会社NTT ExCパートナー

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

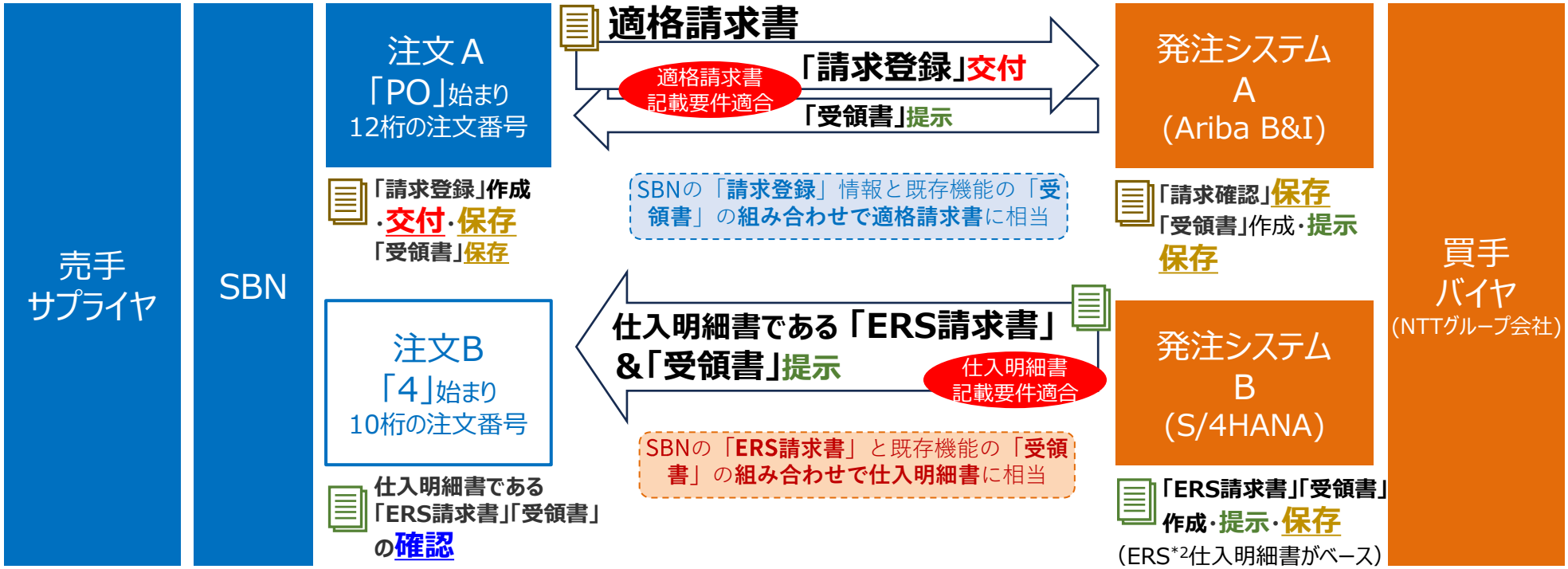
ＮＴＴグループ向け新調達システムにおけるインボイス制度の対応方針

2025年8月18日

ＮＴＴグループ向け新調達システムにおけるインボイス制度への対応方針については、SAPのインボイス対応機能を利用し以下の通り対応しております。

■基本的な考え方

・原則、適格事業者のサプライヤには、**適格請求書**を**「交付」**または**仕入明細書**を**「確認」**いただくことになります。
・基本的にはSAP Business Network（以降、SBN[*1]と記載）のサプライヤログイン後の画面操作によりインボイス制度に対応します。
・「PO」始まり12桁の注文番号の場合は、サプライヤが**物品・役務問わず**「**請求登録**」を提出することが適格請求書の**「交付」**にあたり、また、取引内容や支払条件によっては、バイヤが検収することで生成される「**受領書**」で適格請求書の記載要件を充足する運用も想定します。
・「4」始まり10桁の注文番号の場合は、バイヤが作成し提示する「**ERS請求書**」および「受領書」が仕入明細書に該当し、これらの確認行為が、仕入明細書の**「確認」**にあたります。



*1 SBN：SAP Business Network（旧 **Ariba Network**）
*2 ERS：Evaluated Receipt Settlement、SAP標準機能「入庫/請求自動決済」。サプライヤに代わり、購買発注・入庫情報を基にサプライヤ請求書をシステムが自動的に登録・転記する仕組み

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

インボイス制度対応の主なポイント

2025年8月18日

SAP Aribaにおけるインボイス制度対応の主なポイントを示しますのでご理解とご協力をお願いいたします。

■インボイス制度対応の主なポイント

注文A 「PO」始まり番号	1	SBNで**「適格請求書発行事業者登録番号」の設定**が必要			**【必須事項】**
	2	**物品・役務問わず「請求登録」**が必要			**【必須事項】**
	請求登録	コメント欄対応	3	定期定額**２ヶ月目以降の請求書省略**には固定文言を推奨	【任意事項】
			4	**明細ごと「軽減税率」適用時**は固定文言が必要	**【必須事項】**
		その他	5	**バイヤの検査合格を要す取引は事前に検収日受領が必要**	【任意事項】
			6	請求登録の**明細ごと税カテゴリ選択**が必須	**【必須事項】**
注文B 「4」始まり番号	7	SBNで**仕入明細書である「ERS請求書」「受領書」の確認**が必要			**【必須事項】**
共通	8	オフライン取引等は**適格請求書PDF等のシステム外送付**が必要			**【必須事項】**

（参考）主な対応ポイントとリリーススケジュールとの関係（2023年9月～10月時点）

●SAPインボイス関連リリース
①会社プロファイル改修（登録番号設定可）

●NTTインボイス関連リリース
②「**請求登録**」税額計算・表示項目改修等
①請求登録の税「カテゴリ」選択必須設定等
②請求登録「請求日」過去日入力許可設定等
③４始まり注文用「ERS請求書」のSBN連携

２０２３年

５月・・・８月	９月	１０月
▲①5月20日 1 SBNで**「適格請求書発行事業者番号」の設定**が必要 △リリース準備 8月19日	△②①② 9月15日	2 **物品・役務問わず「請求登録」**が必要 3 定期定額**２ヶ月目以降の請求書省略**には固定文言を推奨 4 **バイヤの検査合格を要す取引は事前に検収日受領が必要** 5 **明細ごと「軽減税率」適用時**は固定文言が必要 6 請求登録の**明細ごと税カテゴリ選択が必須**（現在「請求登録」非利用者は10/1以降必須） △③ 9月下旬 7 SBNで仕入明細書である「ERS請求書」「受領書」の確認が必要 8 オフライン取引等は適格請求書PDF等のシステム外送付が必要

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

1 SBNで「適格請求書発行事業者登録番号」の設定が必要

2025年8月18日

「請求登録」情報をインボイスとして扱うためには、インボイスの要件のひとつ「適格請求書発行事業者登録番号」を「請求登録」の１項目として表示させる必要があり、そのためには予めSBNの会社プロファイル（リーガルプロファイル）にて、自社の登録番号を設定しておく必要がございます。 インボイスとして扱うためには、SBNでの取引開始前に必ずリーガルプロファイルの設定をお願いします。

詳細はSAPよりサプライヤ各社に周知された資料およびNTT ExCパートナーより周知した資料（※）、双方ご参照の上ご設定ください。

【資料】
・エンタープライズアカウント登録ガイド（SAP配布資料）_手順３_会社プロファイルの設定
・スタンダードアカウント登録ガイド（SAP配布資料）_アカウント登録と初期設定について_⑥事業者登録番号の入力

【資料】
「適格請求書発行事業者登録番号」表示不具合の回避方法

※NTT ExCパートナーの資料掲載サイトに掲載しております。（https://www.nttexc.co.jp/nttg_proc/documents/）
「インボイス制度対応に関するご案内」、「適格請求書発行事業者登録番号」表示不具合の回避方法

なお、万が一**誤った「適格請求書発行事業者登録番号」を設定**されますと、その後、請求登録を提出された場合、以下のように**非常に煩雑な是正措置**を取らざるを得ないケースがございますので、設定される**「適格請求書発行事業者登録番号」に誤りのないよう複数人でご確認いただくなど十分ご注意**いただきますようお願い申し上げます。

＜是正措置例＞
①正しい「適格請求書発行事業者登録番号」を記載した適格請求書をPDF等で別途作成
②システム外（メール等）でバイヤに送付いただく
③そのPDF等をバイヤ・サプライヤ双方で保管する

また、本設定により毎回の請求登録画面に番号が自動的に表示されますが、手動での変更が可能な仕様になっていますので、請求登録を実行される方へ事前に注意喚起をお願い致します。

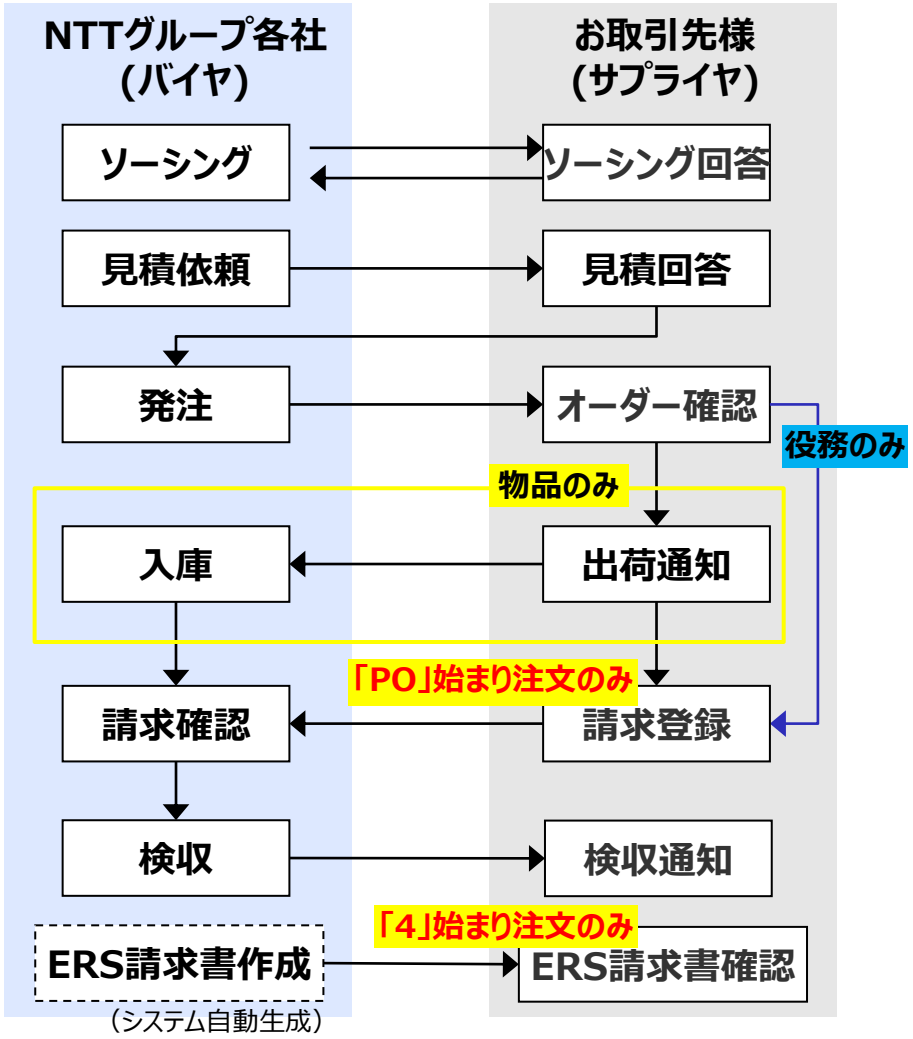
© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2 物品・役務問わず「請求登録」が必要（１／６）

2025年8月18日

Aribaにおけるインボイス対応では「**請求登録**」が適格請求書相当と見なされるため、**物品調達・役務に関わらず「請求登録」が必須**になります。

お取引の流れ



サプライヤの操作内容

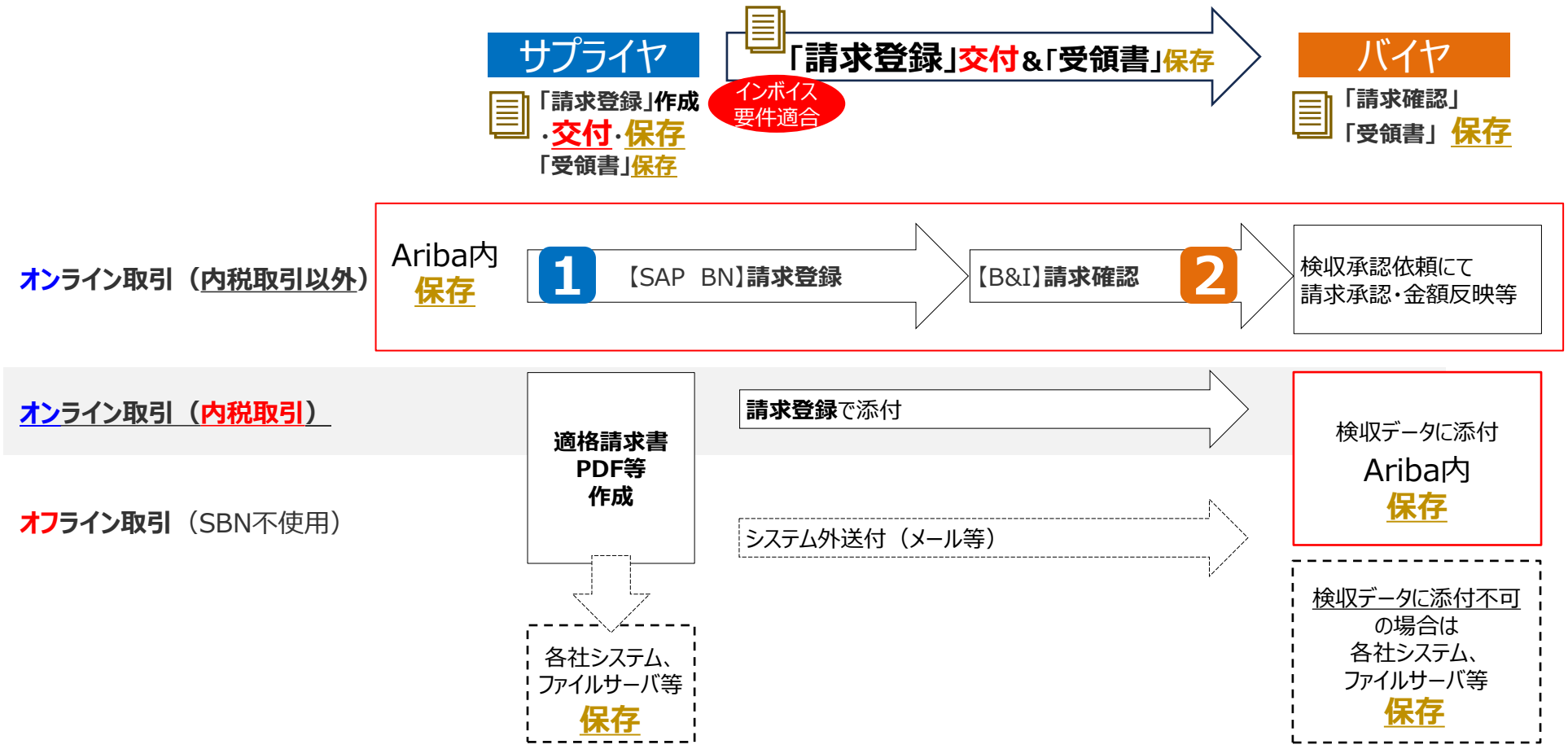
ソーシング回答	バイヤと、サプライヤ間での購買相談を実施します。
見積回答	見積依頼/回答の受渡が電子化されます。 システム上で見積の情報をやりとりします。
オーダー確認	注文書内容を確認後、SAP Ariba上で「オーダー確認」を押下して受注連絡をします。
出荷通知	SAP Ariba上で「出荷通知」を 押下し、 出荷日・配達日情報を伝えます。 出荷がないサービスの場合は対象外となります。
請求登録	注文情報を参照し、SAP Ariba上で 「請求書」をご登録いただきます。 **「PO」始まり注文の物品・役務で必要です。**
検収通知	バイヤ側での検収後、物品・役務それぞれで 検収状況を確認できます。
ERS請求書確認	バイヤ側で生成された ERS請求書を確認できます。 **「4」始まり注文のみ対象です。**

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2 物品・役務問わず「請求登録」が必要（２／６）

2025年8月18日

Aribaでは**内税の場合、税額表示ができない**ことからインボイス制度に対応するためには、**別途、適格請求書をPDF等で発行**いただく必要がございます。バイヤには請求登録に添付いただくことで送付できます。バイヤ側は適格請求書のPDF等を検収時にシステムに添付することで保管します。

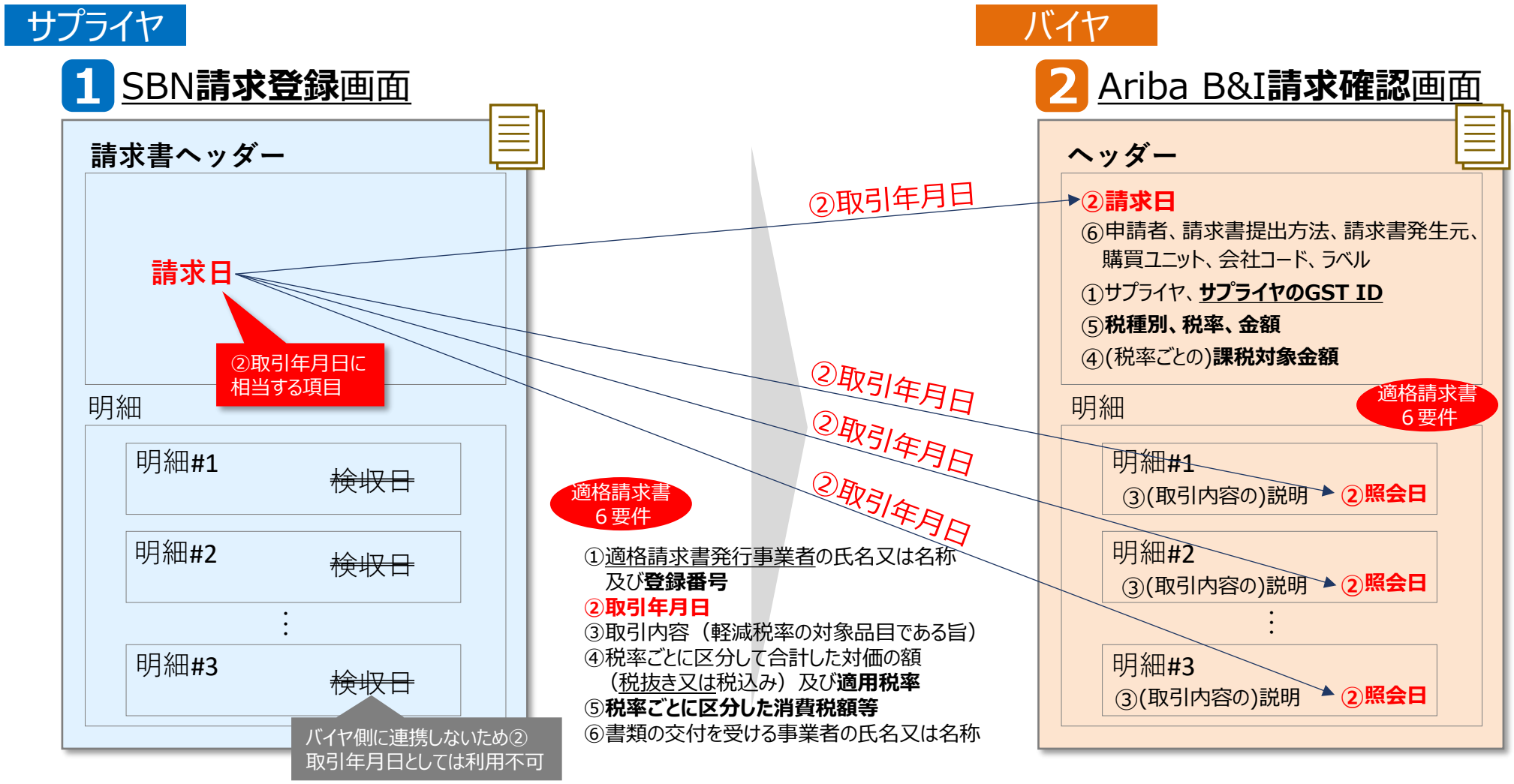


© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2 物品・役務問わず「請求登録」が必要（３／６）

2025年8月18日

■SBN請求登録画面の請求書ヘッダーにある「請求日」が適格請求書６要件「②取引年月日」に相当します。
■「請求日」に入力した値が、バイヤ側に連携され、ヘッダーの「請求日」と各明細の「照会日」に表示されます。
■【要注意】各明細内にある「検収日」はバイヤ側には表示されないため取引年月日としては利用不可となります。



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2 物品・役務問わず「請求登録」が必要（４／６）

2026年11月4日改訂

【1 SBN請求登録画面】

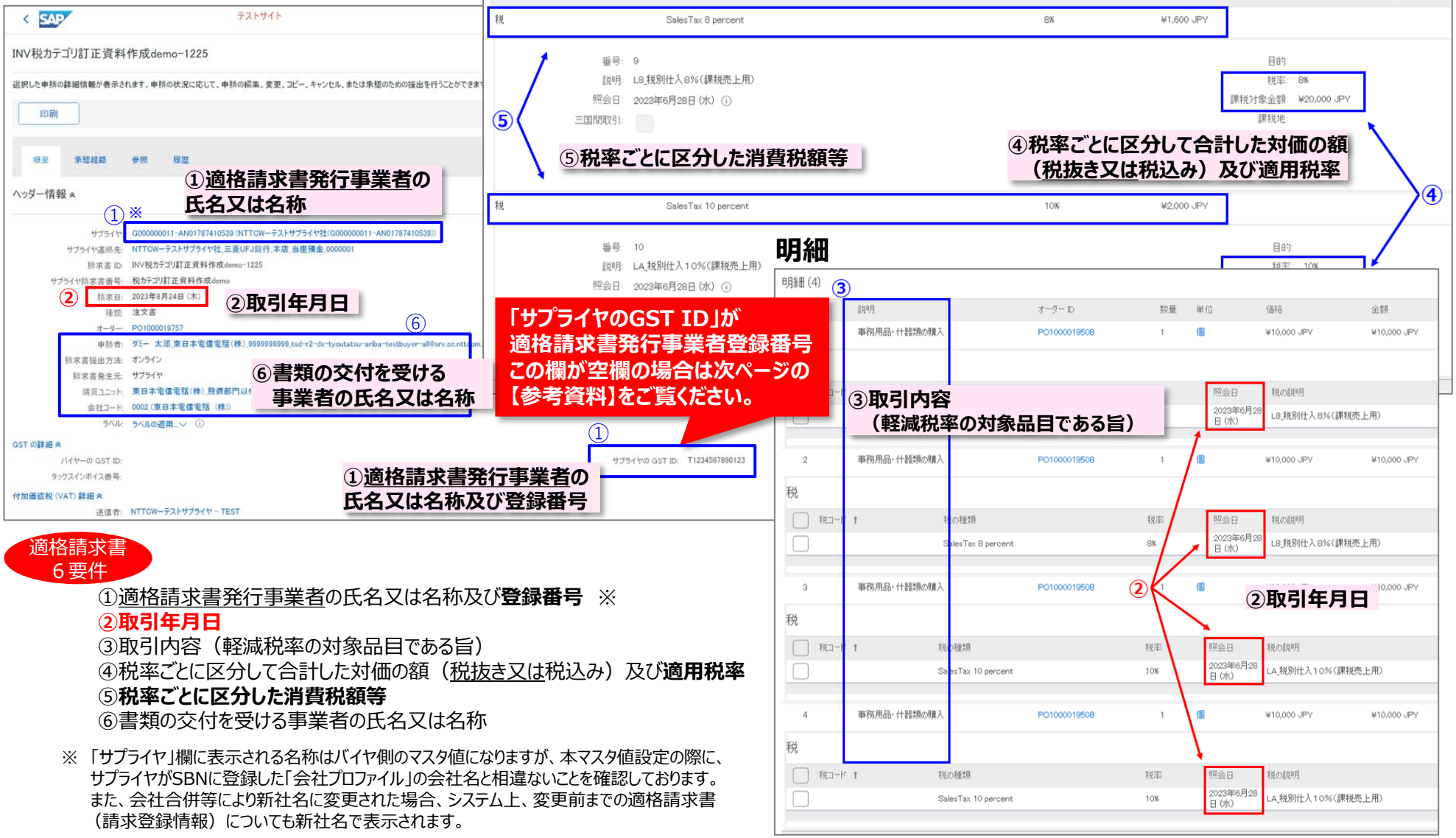


© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2 物品・役務問わず「請求登録」が必要（５／６）

【2 Ariba B&I請求確認画面】

請求書ヘッダー



適格請求書
６要件

①適格請求書発行事業者の氏名又は名称及び**登録番号**　※
②取引年月日
③取引内容（軽減税率の対象品目である旨）
④税率ごとに区分して合計した対価の額（税抜き又は税込み）及び**適用税率**
⑤税率ごとに区分した消費税額等
⑥書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称

※「サプライヤ」欄に表示される名称はバイヤ側のマスタ値になりますが、本マスタ値設定の際に、サプライヤがSBNに登録した「会社プロファイル」の会社名と相違ないことを確認しております。また、会社合併等により新社名に変更された場合、システム上、変更前までの適格請求書（請求登録情報）についても新社名で表示されます。

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2 物品・役務問わず「請求登録」が必要（補足）

【参考資料】

サプライヤ請求書登録画面の「補足詳細」にある①が空欄の場合、適格請求書の要件を満たさなくなるため、ご注意ください。

①が空欄の場合、バイヤ受領請求書の「サプライヤのGST ID」②に表示される**適格請求書発行事業者登録番号**（以下、「事業者登録番号」）も空欄となるためです。

対応として、以下のいずれかの方法を実施してください。

●貴社のアカウント管理者様へ、会社プロファイルの国設定および事業者登録番号の設定を依頼してください。
設定が完了すると、①に事業者登録番号が表示され、②にも反映されます。
設定方法は、以下の資料の「会社プロファイルでの事業者登録番号の入力」について記載されている箇所をご参照ください。
・エンタープライズアカウント登録ガイド

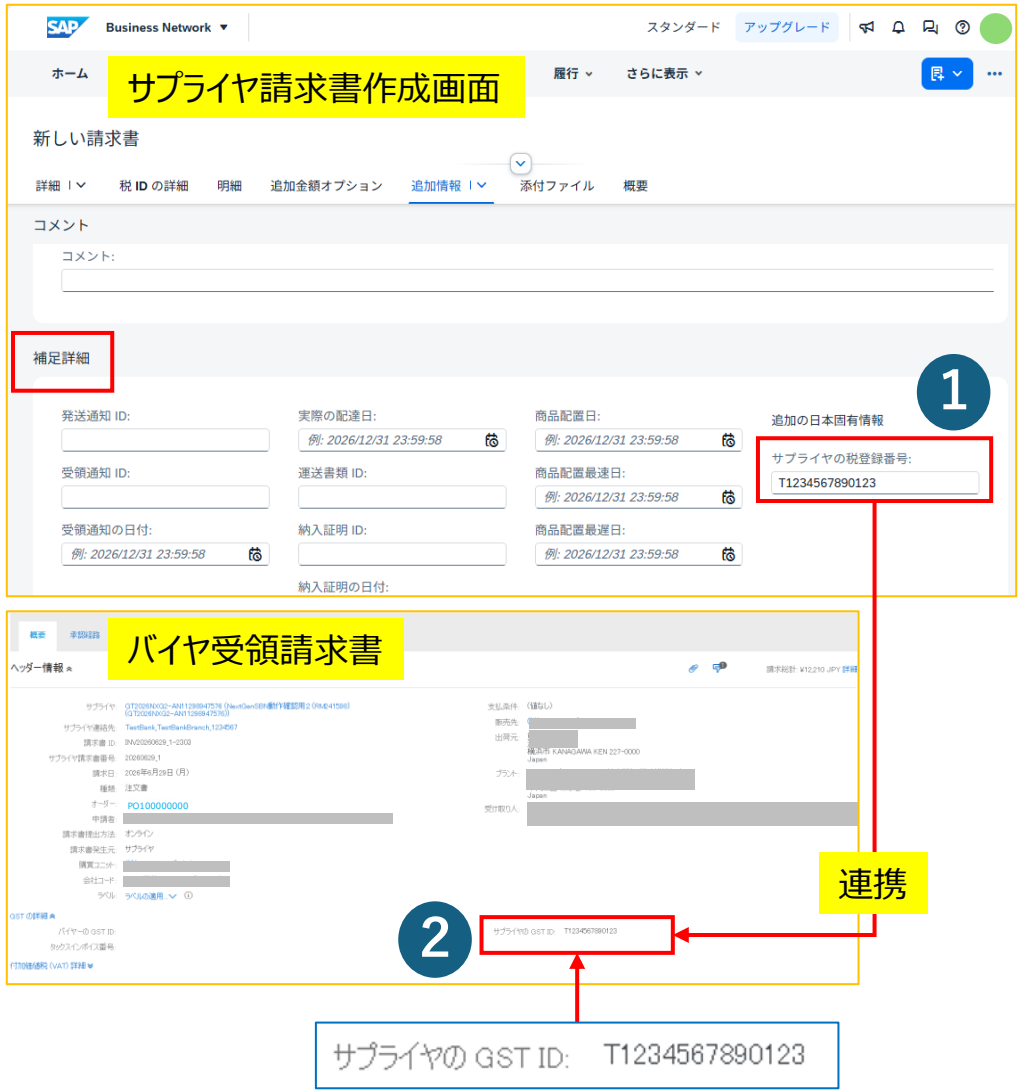
（https://www.nttexc.co.jp/nttg_proc/documents/pdf/account_registration_guide.pdf）

・スタンダードアカウント登録ガイド

（https://www.nttexc.co.jp/nttg_proc/documents/pdf/standard_account.pdf）

※事業者登録番号の修正が必要な場合もアカウント管理者様へご依頼ください。
（参考資料：会社プロファイルの変更方法について）

●事業者登録番号（T＋13桁の数字）を①へ直接入力してください。
上記の会社プロファイルの設定が完了する前に請求書を作成する場合は、この方法で対応できます。入力した事業者登録番号は、②の「サプライヤのGST ID」に表示されます。



2 物品・役務問わず「請求登録」が必要（６／６）

2025年8月18日

「PO」始まり注文番号の物品は役務同様、「請求登録」が必須のため、請求登録後のステータスは「請求書発行済み」から変わらなくなります。また、役務と違い物品の場合は検収完了通知メールが発出されないため、検収完了の確認は注文書データに表示される「受領書」の有無でご判断頂くことになります。

「4」始まり10桁 注文番号	「PO」始まり12桁 注文番号		検収の確認方法
物品 (出荷を伴う注文)		**役務** (物品の出荷を伴わない注文)	
✓	※	※	**1. SBN上の注文書「オーダー状況」注文書ステータス** ✓検収承認後、SBN上の注文書ステータスが**「受入済み」**となります 1つの注文書に対して分納中は「一部受入済み」となります ※「PO」始まり物品と役務は、サプライヤーがSBNで実施する請求登録後の「請求書発行済み」から以降変わりません（請求・検収が逆になっても変わりません）
✓	✓	✓	**2. SBN上の注文書「関連ドキュメント」受領書** ✓検収承認後、 SBN上の注文書「関連ドキュメント」に「**PO**」始まり注文は「**RC**」から始まる受領書、「**4**」始まり注文は「**50**」から始まる受領書が表示されます ※ただし、数量が多い場合は「その他」に集約表示される場合があります ✓SBN上の注文書「オーダーを追跡」からも参照可能です
–	–	✓	**3. 検収完了通知メール** ✓検収承認後、バイヤー側から**通知メール**を発出します

NTT ExCパートナー © NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

3 定期定額２ヶ月目以降の請求書省略には固定文言を推奨（１／３）

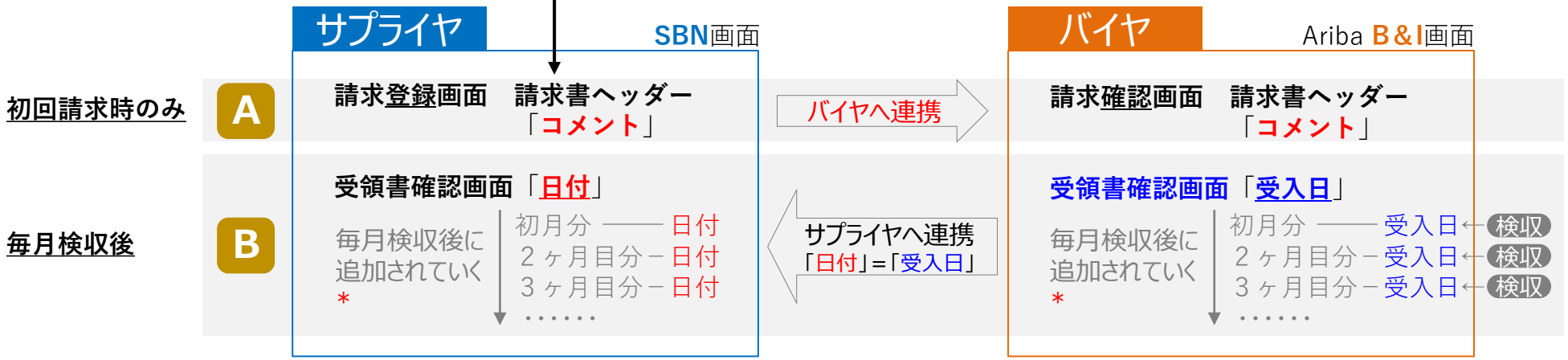
2025年8月18日

毎月固定額の定期的な支払方法（定期定額）においても原則、適格請求書は毎月必要となりますが、適格請求書の記載内容として、**初回の請求登録時の請求書ヘッダー「コメント」欄**に以下のように記載することで、**２ヶ月目以降の適格請求書の要件を充足**する運用が考えられます。また、個別契約やその他バイヤとサプライヤ間の取り決め等での運用なども想定されますが、税法上、最終的には各社で専門家等にご相談のうえご判断いただくことになります。

【初回「請求登録」時の請求書ヘッダー「**コメント**」欄記載例】**＊注**

本請求書は yyyy年mm月～yyyy年mm月 までの適格請求書の一部を兼ねます。
適格請求書における取引年月は、バイヤ側の受領書確認画面の「受入日」に記載の受入年月とします。
※２ヶ月目以降が自動検収の場合は、２ヶ月目以降、受領書確認画面上に「日付」「受入日」の表示がされませんので、取引年月日は、貴社で保存されている通帳や銀行が発行した振込金受取書（課税資産の譲渡等の年月日の事実を示すもの）を参照ください。

＊注：適格請求書における取引年月は、国税庁から公開されている「**インボイス制度に関するＱ＆Ａ問93**」を参照頂き、契約毎に適宜コメント欄の記載を各社様でご検討願います。



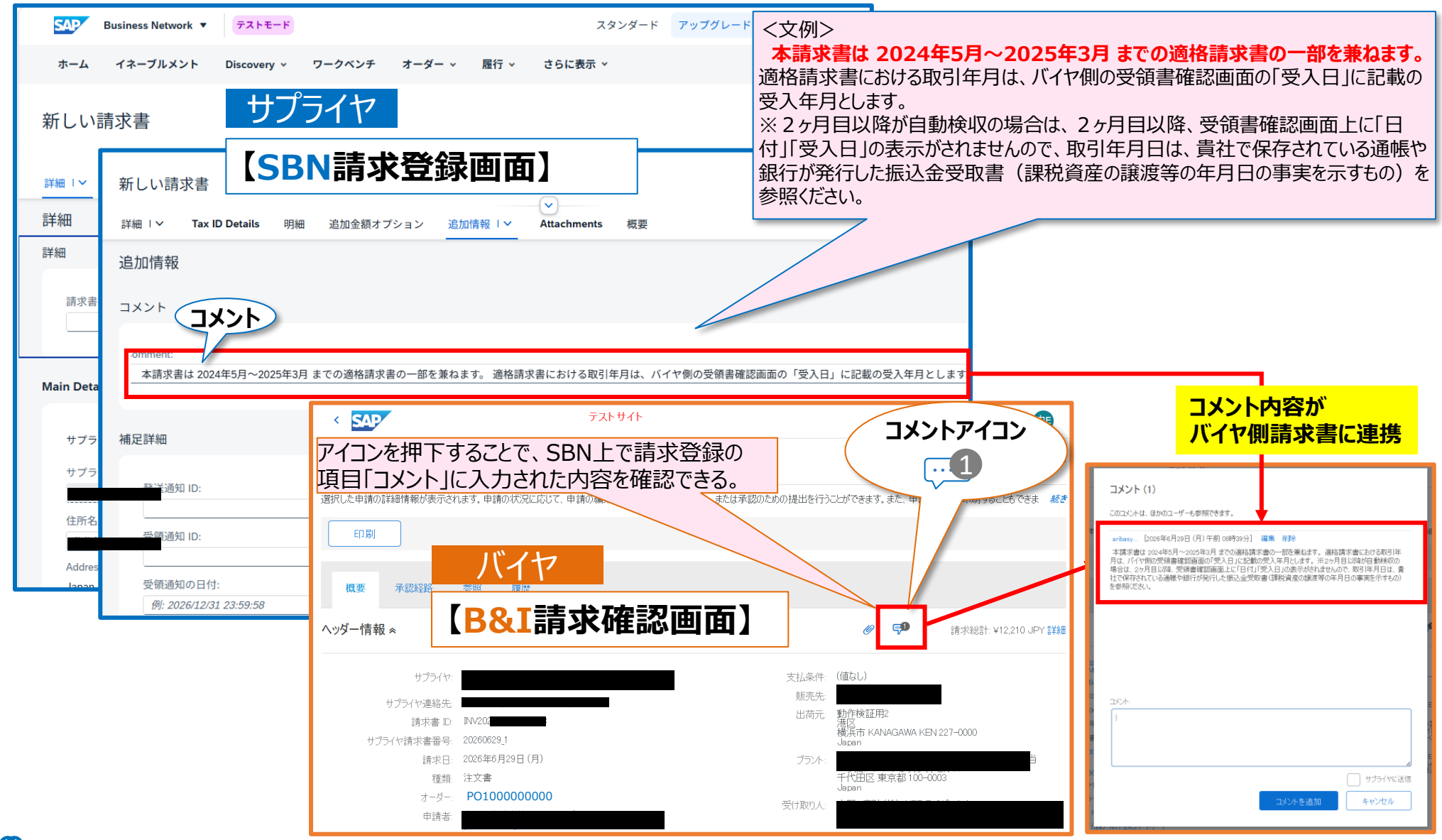
＊２ヶ月目以降が自動検収の場合はバイヤ、サプライヤいずれの受領書確認画面においても２ヶ月目以降の受領書の表示がされませんので「日付」、「受入日」等の確認ができません

NTT ExCパートナー © NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

3 定期定額２ヶ月目以降の請求書省略には固定文言を推奨（２／３）

2026年11月4日改訂

【A 初回請求登録時：コメント欄の画面】

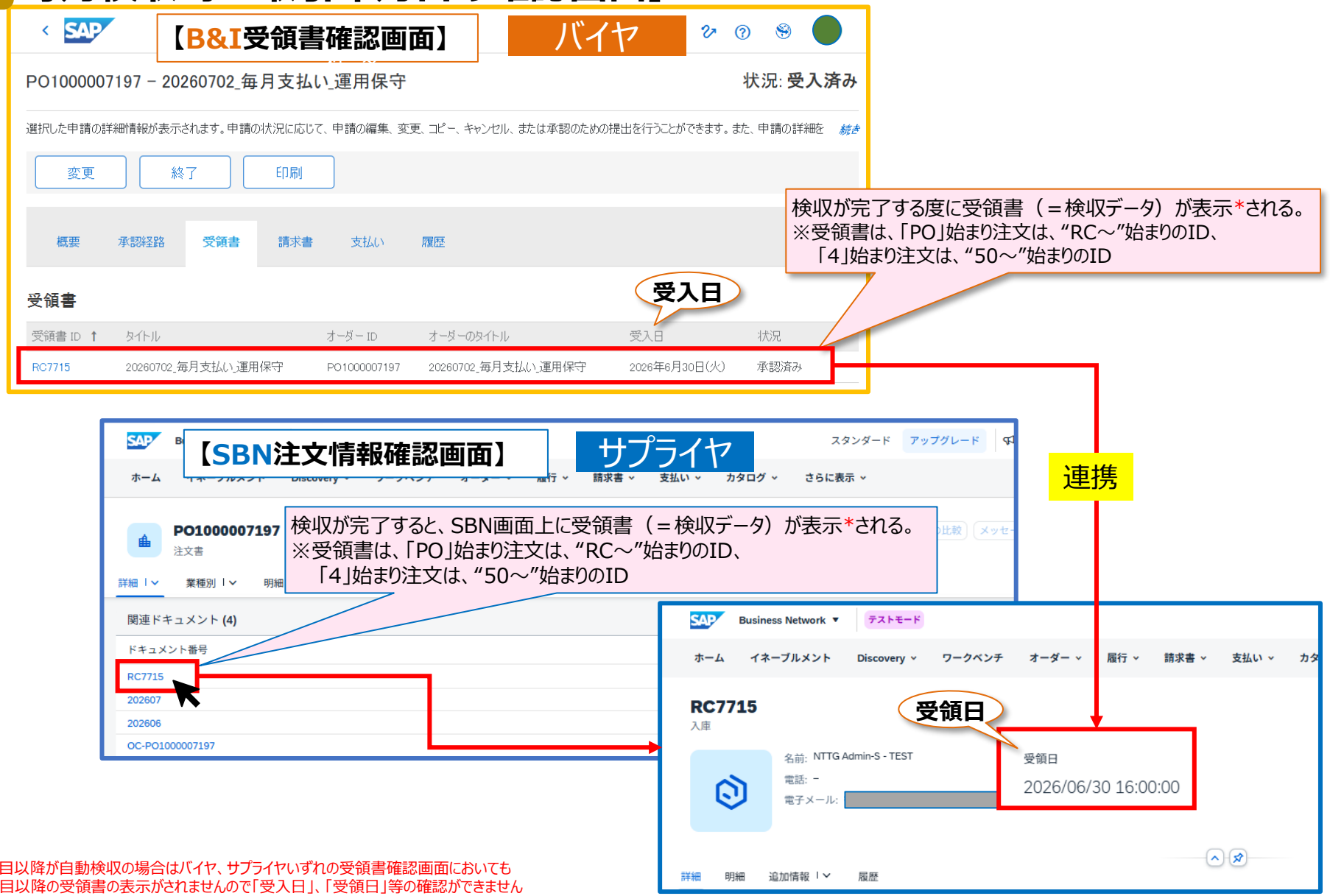


© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

3 定期定額２ヶ月目以降の請求書省略には固定文言を推奨（3／3）

2026年11月4日改訂

【B 毎月検収時：取引年月日の確認画面】



＊２ヶ月目以降が自動検収の場合はバイヤ、サプライヤいずれの受領書確認画面においても
２ヶ月目以降の受領書の表示がされませんので「受入日」、「受領日」等の確認ができません

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4 明細ごと「軽減税率」適用時は固定文言が必要　（1／2）

2026年11月4日改訂

軽減税率を適用する取引の場合は、請求登録時に**明細単位に軽減税率を適用**する旨の**コメント記載が必要**です。
統一運用のため、１明細の場合においても請求書ヘッダーのコメント欄は使わず、**明細のコメント欄**をご利用ください。

サプライヤ

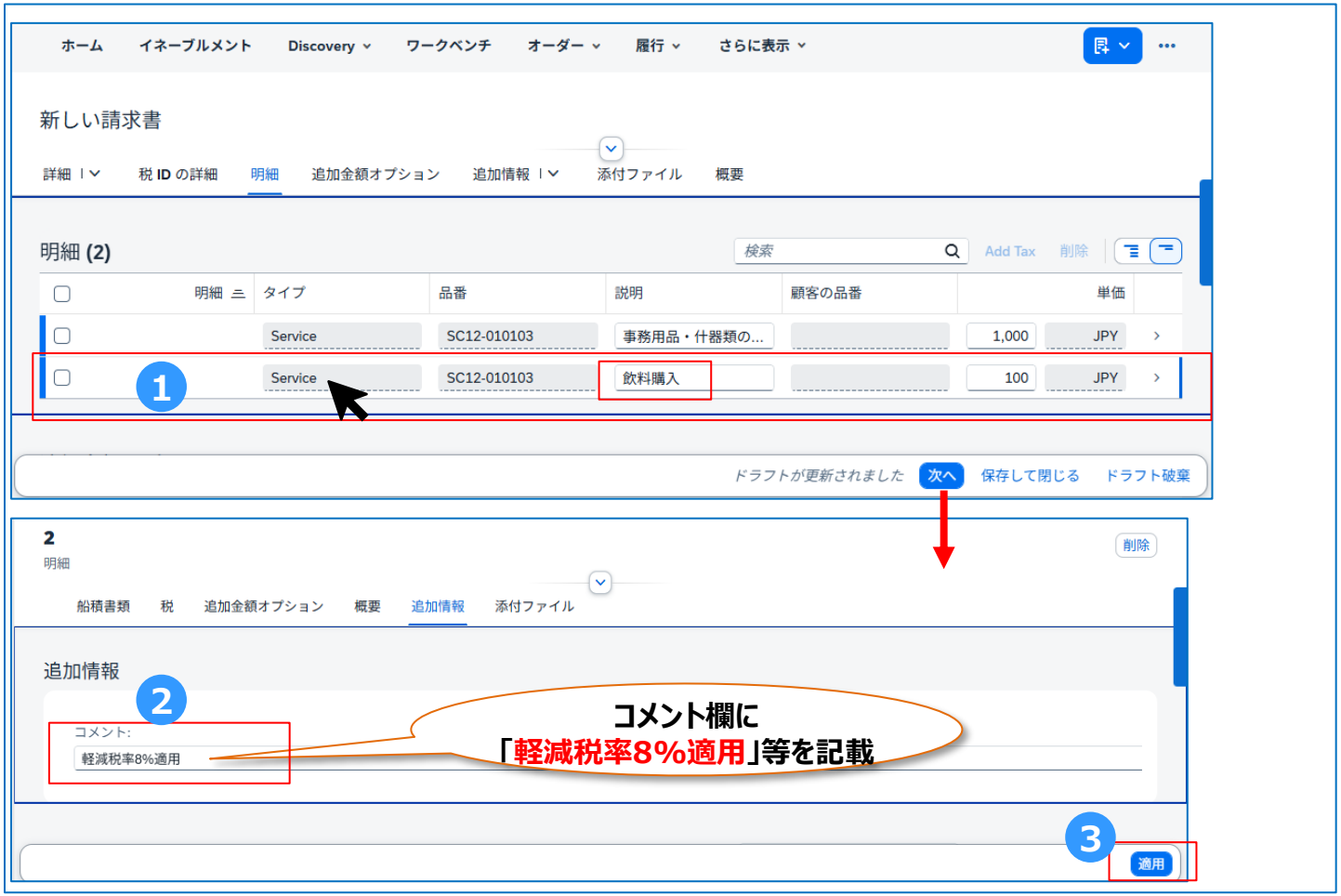
【SBN請求登録画面】

システム操作

- ①軽減税率となる明細を押下
- 「明細」の「追加情報」のコメント②へ必要事項の記載や、「**税額**」が正しく表示されていることを確認
- ③確認完了後、「適用」を押下

その他事項

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4 明細ごと「軽減税率」適用時は固定文言が必要（２／2）

2026年11月4日改訂

軽減税率を適用する取引の場合は、請求登録時に**明細単位に軽減税率を適用**する旨の**コメント記載が必要**です。
統一運用のため、１明細の場合においても請求書ヘッダーのコメント欄は使わず、**明細のコメント欄**をご利用ください。

サプライヤ

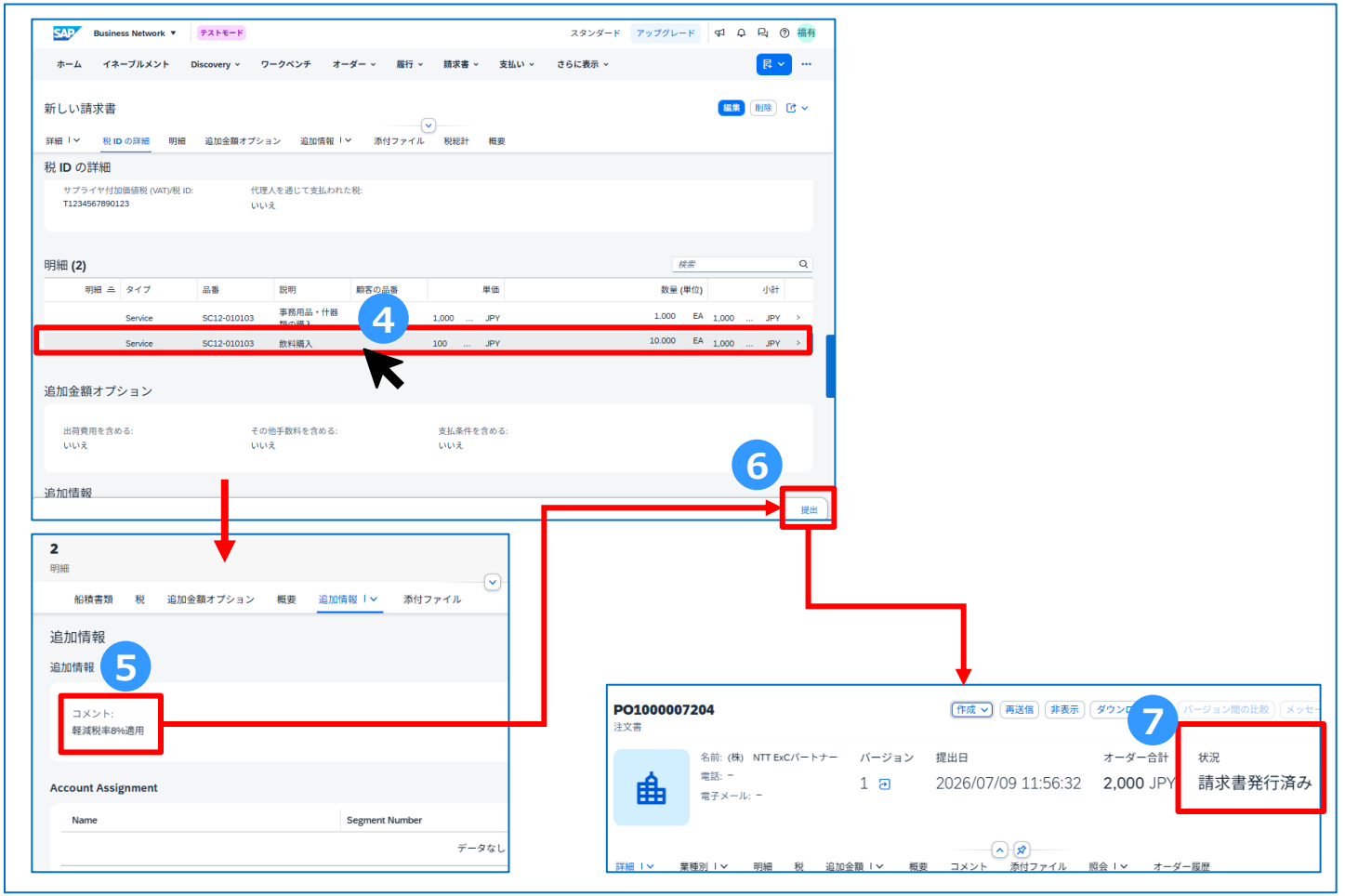
【SBN請求登録画面】

システム操作

- ④軽減税率となる「明細」を押下
- ⑤「追加情報」のコメントに記入した「軽減税率8%適用」の記載がある事を確認
- 請求書作成画面に戻り、「**税額**」などが正しく表示されていることを確認
- ⑥確認完了後、「提出」を押下
- ⑦注文書画面に遷移
  「状況」にて「請求書発行済み」となる

その他事項

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

【参考】バイヤ受領請求書での軽減税率適用コメント掲載場所について（１／2）

軽減税率適用コメントの確認方法

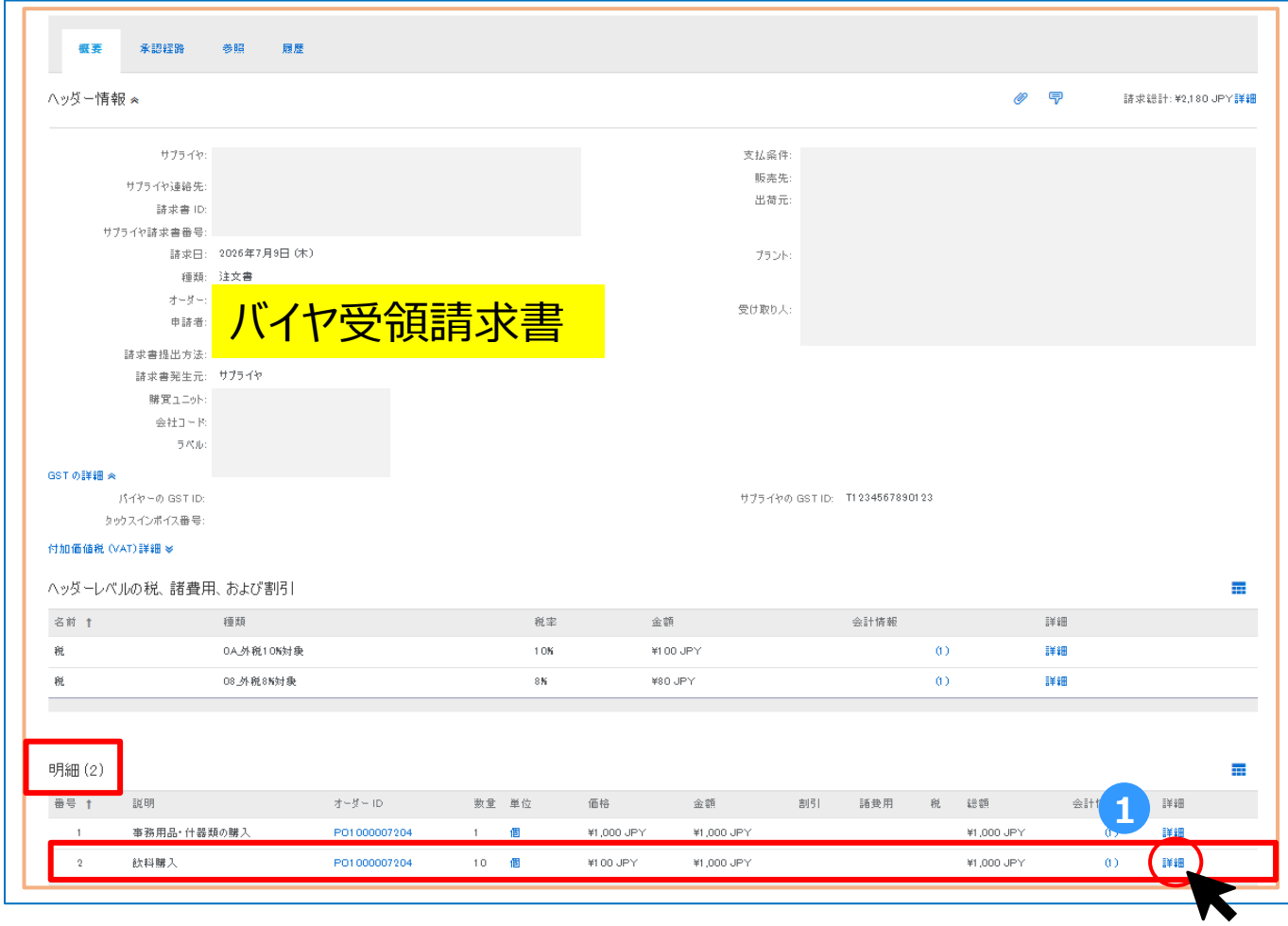
バイヤ　**受領請求書画面**

システム操作

- ①受領請求書の「明細」から対象の項目の「詳細」を押下

その他事項

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

【参考】バイヤ受領請求書での軽減税率適用コメント掲載場所について（２／2）

軽減税率適用コメントの確認方法

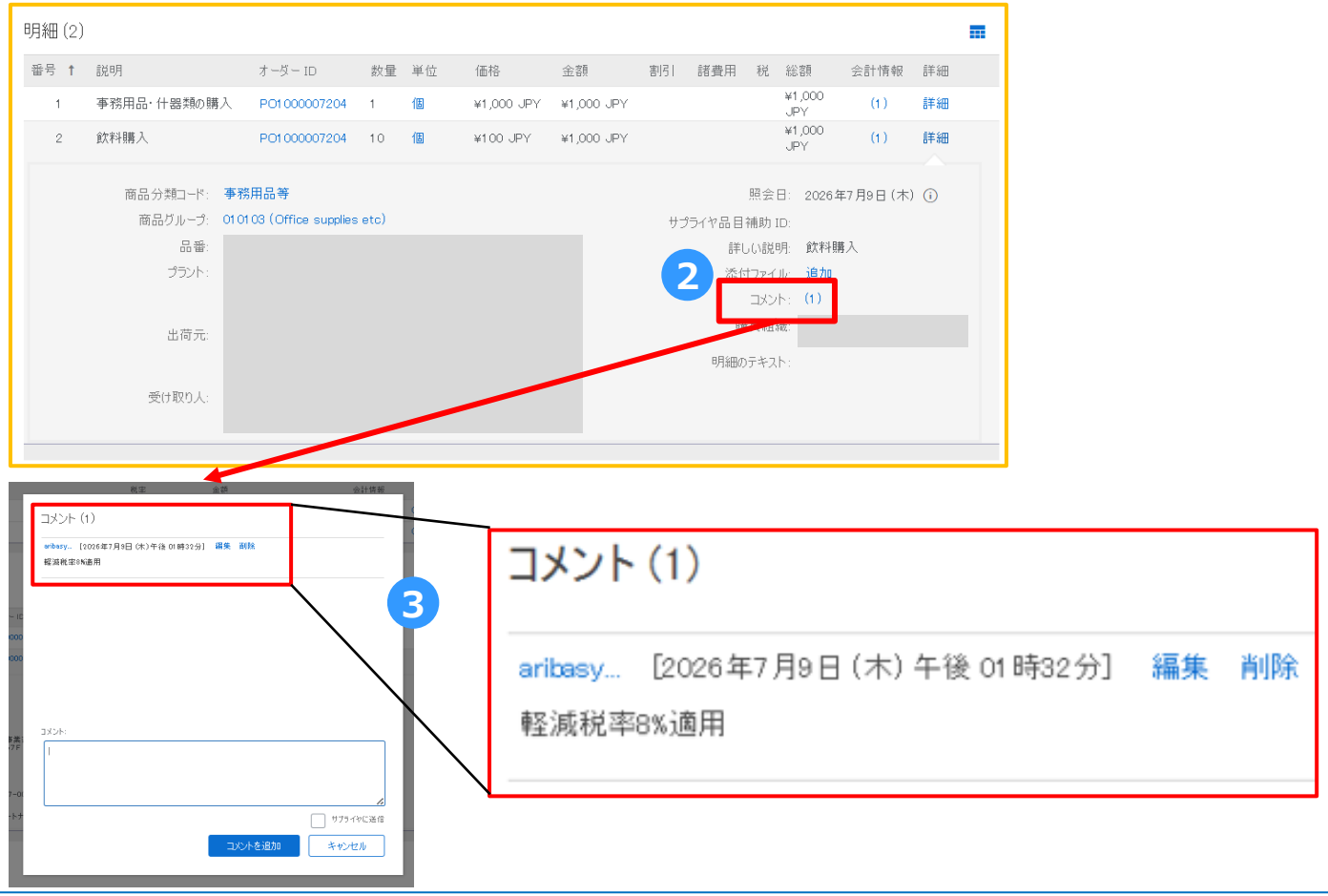
バイヤ　**受領請求書画面**

システム操作

- ②詳細の中の「コメント」を押下
- ③「軽減税率8%適用」のコメントを確認

その他事項

システム画面

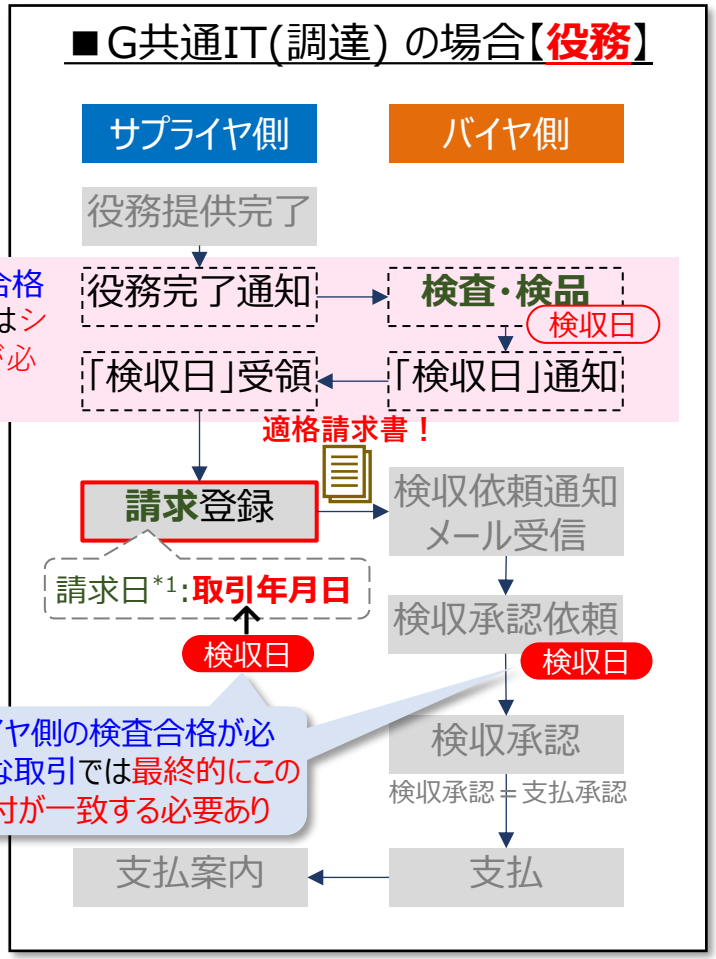


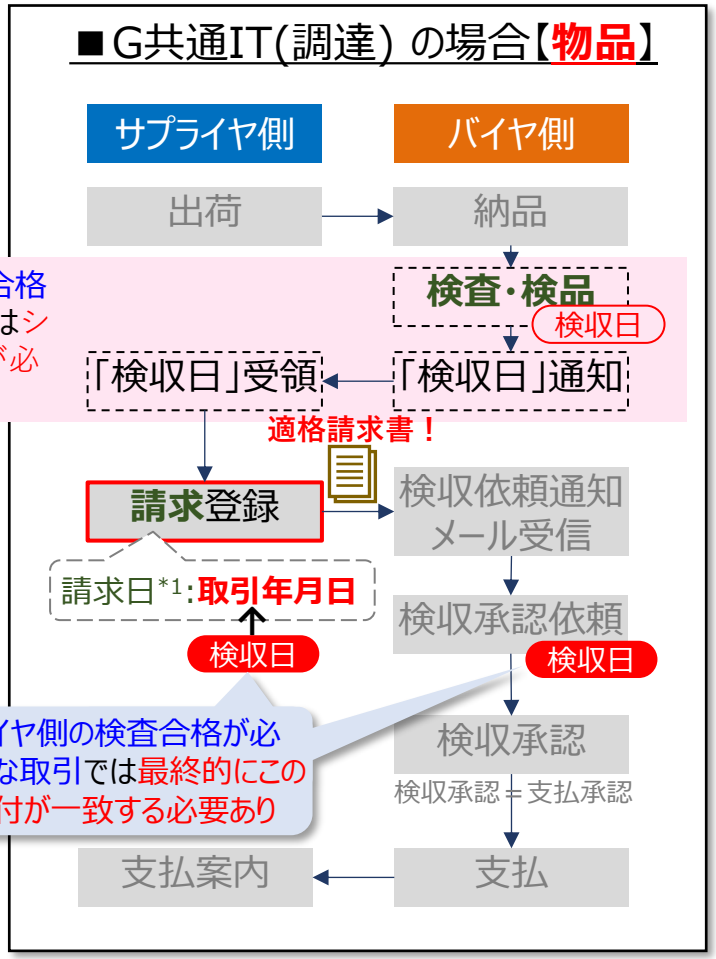
© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

5 バイヤの検査合格を要す取引は事前に検収日受領が必要

2025年8月18日

- 請求登録の**「請求日」欄を適格請求書の記載要件である「取引年月日」として扱う運用**となっております。
- また、バイヤにおける検収処理より、サプライヤの請求登録が先行して行われるため、**「バイヤによる検査合格が必要な取引」**については、サプライヤが「請求日」欄に投入すべき「取引年月日（＝検収日）」が請求登録段階で不明の状況となります。この場合には、**請求登録前にバイヤから検収日の通知をシステム外で入手**する等で対処願います。
- なお、税法上、適格請求書はサプライヤの責で作成する書類であることから、契約に基づき適切な取引年月日を入力願います。ただし、適格請求書を受け取ったバイヤ側で取引年月日に異論がある場合は当事者間で確認させて頂くことになります。





*1　現状、請求登録の「請求日」には過去日入力が許容されていないが、検収日相当の日付を入力するため、過去日入力を許容するよう設定変更予定。

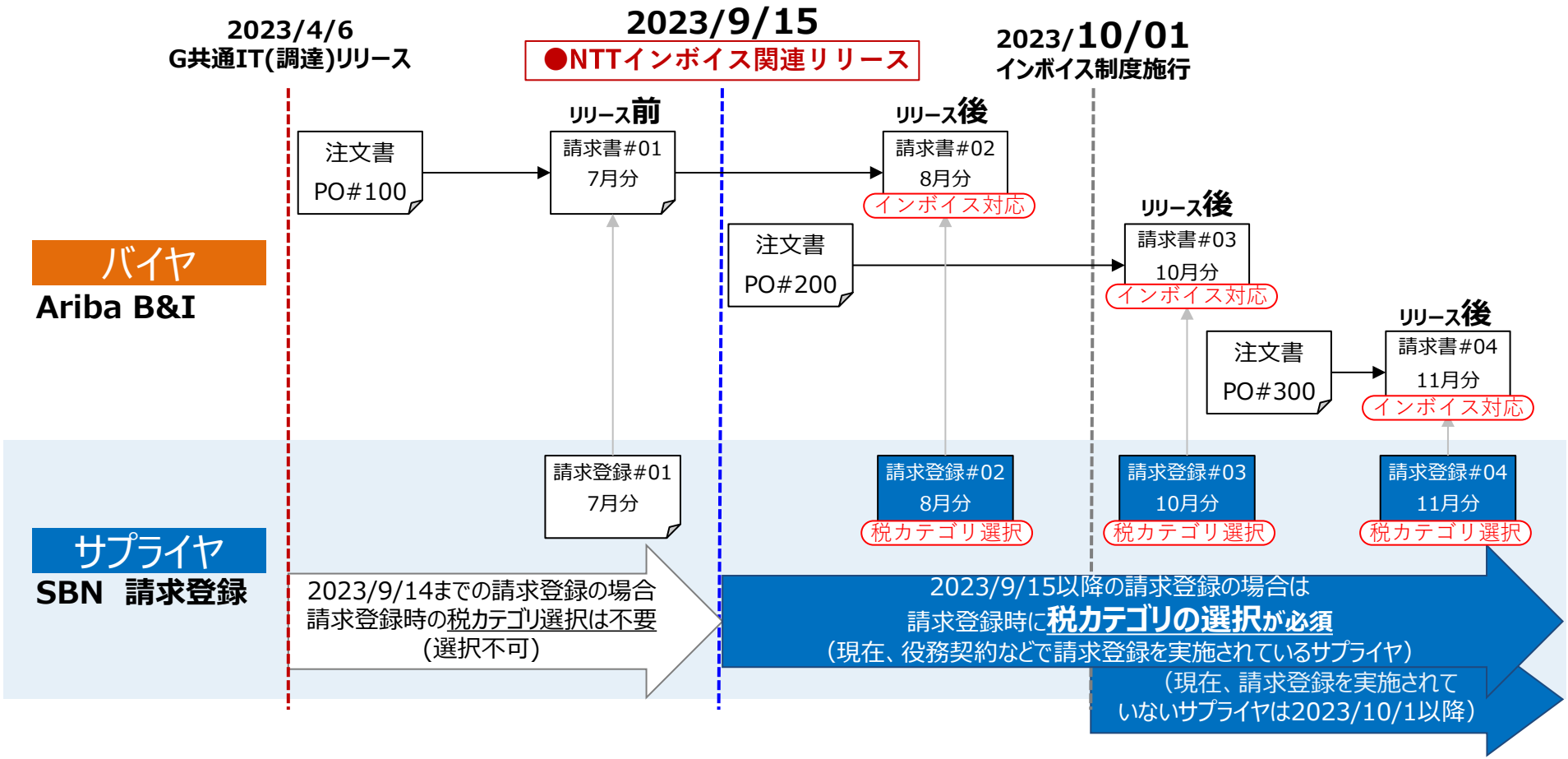
NTT ExCパートナー © NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

6 請求登録の**明細ごと税カテゴリ選択**が必須（１／４）

2025年8月18日

インボイス制度が始まる以前までは請求登録時に、明細ごとに設定されている税の「カテゴリ」欄は選択不要（選択不可）でしたが、適格請求書に対応した税率ごとの税額計算や税額表示をするためには、本項目を選択必須とする必要があります。2023年9月15日のNTTインボイス関連リリース以降は、請求登録において**明細ごとの税「カテゴリ」欄の選択が必須**となっておりますので、ご対応をお願い致します。
（税カテゴリを選択しないまま「提出」を実行するとエラーが表示され処理が進みません）

（参考）税カテゴリ選択必須の適用タイミング（2023年9月～10月時点）



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

6 請求登録の**明細ごと税カテゴリ選択**が必須（２／４）

2026年11月11日改訂

■ サプライヤは請求登録時に各明細の項目「説明」に初期値として設定されている税種別に応じて税カテゴリを選択する必要があります **（初期値が正しくても「選択」は必要）**

システム操作

- ①請求書登録画面の「明細」にある、**各明細毎に税カテゴリを設定** → 「〉」を押下
- ②税カテゴリの「 ⌄ 」を押下し税カテゴリのリストを表示

【選択必須】

- 税カテゴリを確認し、最初に表示された値③と同じ税カテゴリ④を選択後、「適用」を押下
  ※初期値が正しくても「選択」は必要
- ⑤複数の明細を請求する際は、上記①～③を繰り返す

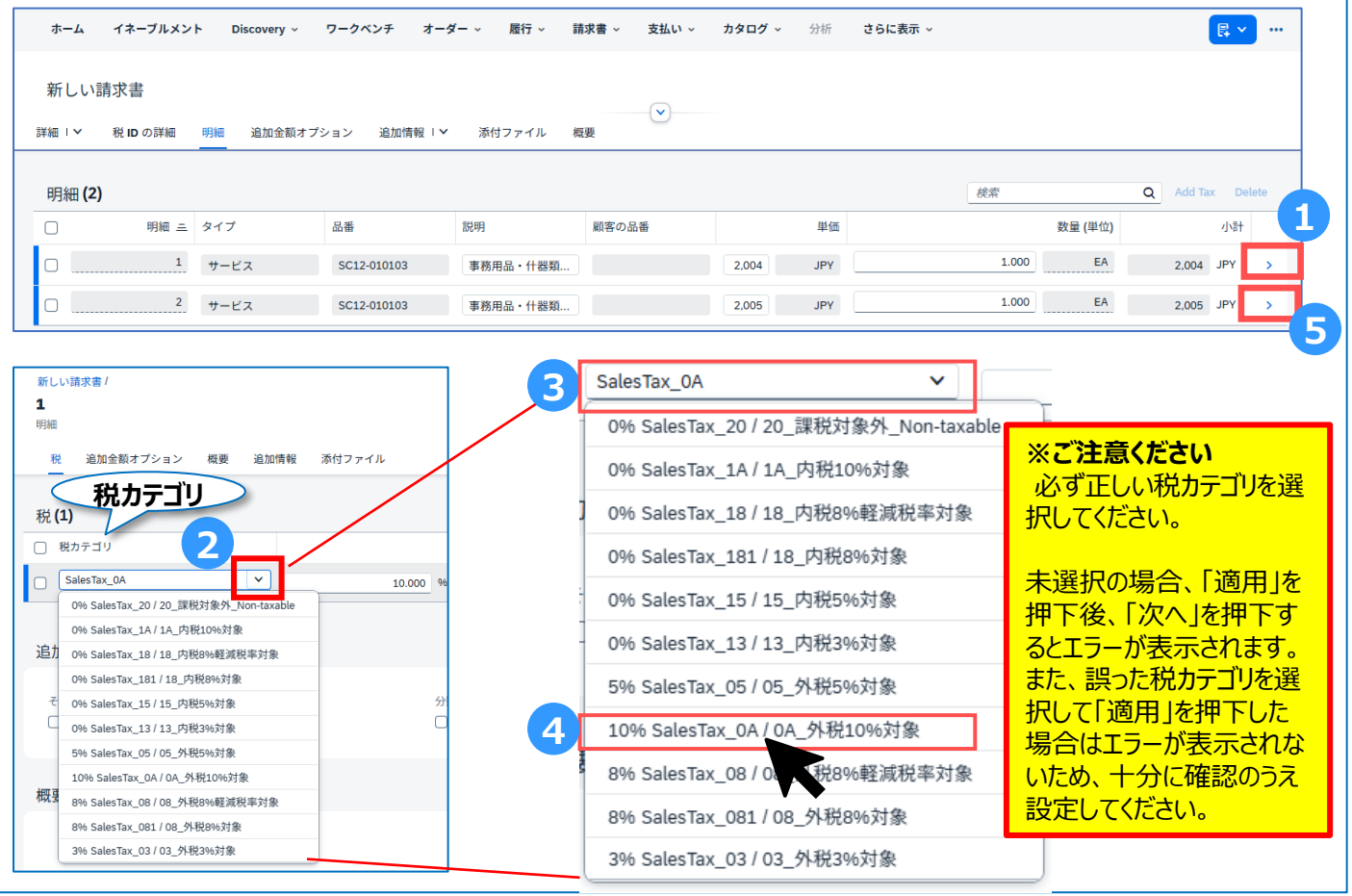
その他事項

※



参考
日本語訳

システム画面



※ご注意ください
必ず正しい税カテゴリを選択してください。

未選択の場合、「適用」を押下後、「次へ」を押下するとエラーが表示されます。また、誤った税カテゴリを選択して「適用」を押下した場合はエラーが表示されないため、十分に確認のうえ設定してください。

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

6 請求登録の**明細ごと税カテゴリ選択**が必須（３／４）

2026年11月4日改訂

■ ①サプライヤがSBNの請求登録にて税カテゴリを選択して「提出」をすると、②バイヤのB&I請求書確認画面のヘッダー部分に各明細③の税率に応じて、**税区分ごとに計算された税額が表示**されます。

サプライヤ ＜SBN請求書確認画面＞

詳細 | 税 ID の詳細 | 明細 | 追加金額オプション | 追加情報 | 添付ファイル | 税総計 | 概要

1

税総計 (2)

検索

税カテゴリ	税率	税率タイプ	課税対象金額		税額		課税地	説明
SalesTax_0A	10.000	%	2,005	JPY	200	JPY		0A_外税10%対象
SalesTax_081	8.000	%	294	JPY	23	JPY		08_外税8%対象

消費税 10%対象

消費税 8%対象

バイヤ ＜B&I請求書確認画面＞

ヘッダーレベルの税、諸費用、および割引 2

名前	種類	税率	金額	会計情報	詳細
税	08_外税8%対象	8%	¥23 JPY	(1)	詳細
税	0A_外税10%対象	10%	¥200 JPY	(1)	詳細

明細 (2) 3

番号	説明	オーダー ID	数量	単位	価格	金額	割引	諸費用	税	総額	会計情報	詳細
1	事務用品・什器類の購入	PO1000007282	1	個	¥2,005 JPY	¥2,005 JPY				¥2,005 JPY	(1)	詳細
2	事務用品・什器類の購入	PO1000007282	3	個	¥98 JPY	¥294 JPY				¥294 JPY	(1)	詳細

消費税 8%対象

消費税 10%対象

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

6 請求登録の**明細ごと税カテゴリ選択**が必須（４／４）

2026年11月4日改訂

税カテゴリの設定値（選択可能な税カテゴリ）

- SBNの税カテゴリは、以下分類の組み合わせにより、計11種類を設定しています
  - ✓ 税種別　　：外税、内税、課税対象外
  - ✓ 税率　　：0%、3%、5%、8%、10%
  - ✓ 軽減税率　　：対象、非対象

#	税カテゴリID	税率(%)	説明
1	0% SalesTax_20	0	20_課税対象外_Non-taxable
2	0% SalesTax_1A	0	1A_内税10%対象
3	0% SalesTax_18	0	18_内税8%軽減税率対象
4	0% SalesTax_181	0	18_内税8%対象
5	0% SalesTax_15	0	15_内税5%対象
6	0% SalesTax_13	0	13_内税3%対象
7	5% SalesTax_05	5	05_外税5%対象
8	10% SalesTax_0A	10	0A_外税10%対象
9	8% SalesTax_08	8	08_外税8%軽減税率対象
10	8% SalesTax_081	8	08_外税8%対象
11	3% SalesTax_03	3	03_外税3%対象

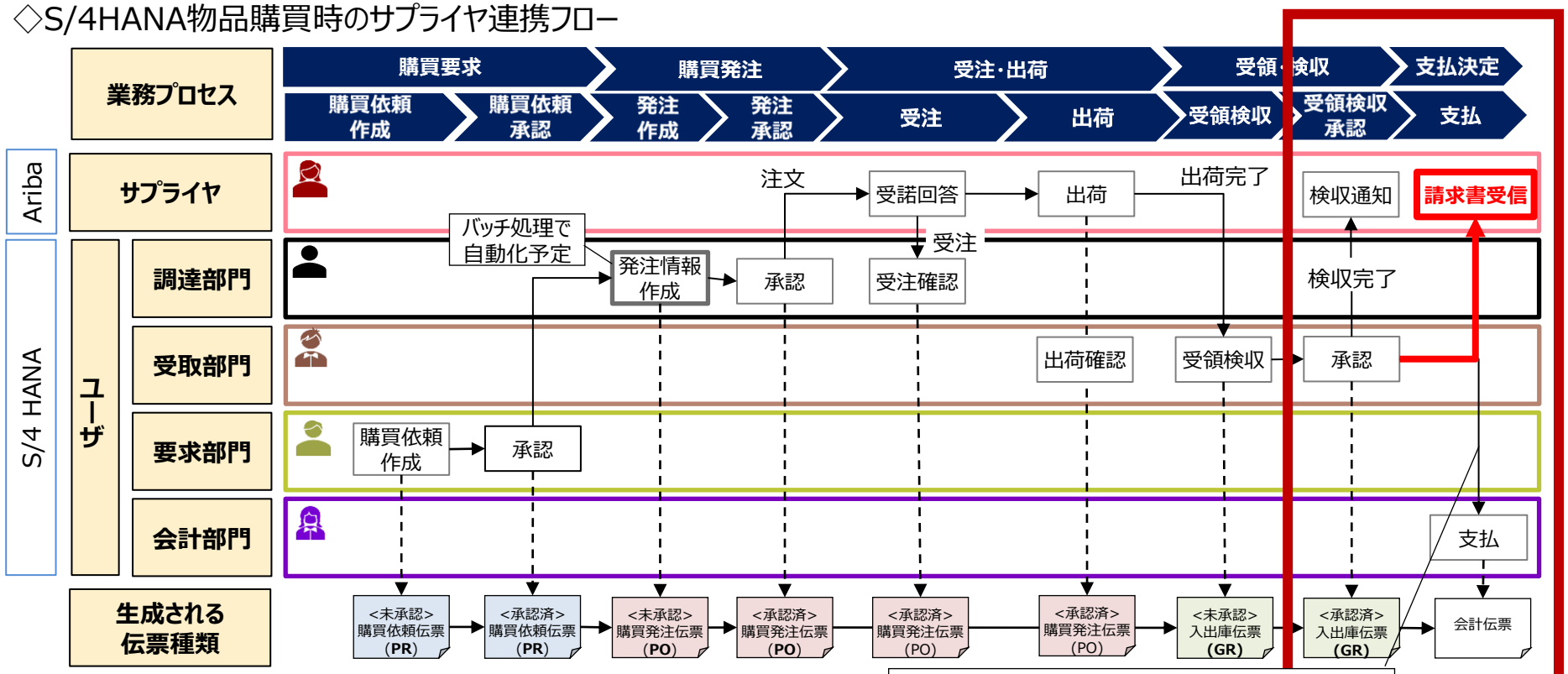
© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

7 SBNで「ERS請求書」「受領書」の確認が必要

2026年11月4日改訂

- 「4」から始まる注文データについては、2023年9月15日のNTTインボイス関連リリース③「ERS請求書」のSBN連携により、**SBNの画面上で「ERS請求書」が確認可能**となっています。
- 仕入明細書である記載要件である6要件は、**「受領書」および「ERS請求書」に**記載されるため、仕入明細書である「ERS請求書」「受領書」の双方をサプライヤとして「確認」いただき、不備等がある場合はバイヤに通知いただく運用としております。
- なお、「ERS請求書」に記載するサプライヤの適格請求書発行事業者登録番号は「**国税庁インボイス制度適格請求書発行事業者公表サイト**[*1]」の情報をもとに初期表示しております。

◇S/4HANA物品購買時のサプライヤ連携フロー



*1 国税庁インボイス制度適格請求書発行事業者公表サイト (https://www.invoice-kohyo.nta.go.jp/)

NTT ExCパートナー © NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

8 オフライン取引等は**適格請求書PDF等のシステム外送付**が必要 2025年8月18日

何かしらの理由によりSBNが利用できない場合、もしくは内税取引等Aribaでは税額表示ができない制約があることで税額補正が困難なケースや連携されてきた「ERS請求書」に不備等があり適格請求書として訂正が必要なケースなど、やむを得ずSBNを利用しないオフライン取引となる場合は、原則、**適格請求書のPDF等データをシステム外で適切なタイミングでバイヤに送付する必要**があり、かつ、インボイス制度対応のため**各社での保管が必要**となります。

- バイヤ、サプライヤの取り交わし例（「PO」始まり注文番号）については、P5 「２.物品・役務問わず「請求登録」が必要（２／６）」 に「オフライン取引」として記載しております。
- 「4」始まり注文番号についてもSBN上で確認できる「ERS請求書」に不備があるなど、システム上で訂正できない場合は、システム外で適格請求書のPDF等をバイヤに送付する必要があります。
- 消費税計算についてはNTTグループ会社の各システムでは「切り捨て」の計算のみ対応しております。

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

ご対応にあたっての留意事項について

2025年8月18日

インボイス制度への対応にあたり、各種条件によって運用対処が必要なケースがございますので、留意事項についてご理解とご協力をお願いいたします。

■「PO」始まり注文を受ける場合

①免税事業者から適格事業者へ、もしくは適格事業者から免税事業者へ変更される場合は、
SBNの会社プロファイルにて、「適格請求書発行事業者番号」の設定を忘れずに実施をお願いいたします。
②次のようなケースの場合は通常のお取引と区別し、インボイス制度に対応するにあたって特別な対応が必要となる場合があるため、予め取引予定のバイヤに対し、ご連絡いただきますようお願いいたします。

・サプライヤが免税事業者の場合
【理由】バイヤからの注文時に免税事業者専用の税コード設定が必要となるため

・内税取引をされる場合（複数明細案件についても１明細でも内税がある場合は該当になります）
【理由】内税の場合、税補正ができないためオフラインサプライヤと同様の対応が必要となるため

■「4」始まり注文を受ける場合

次のようなケースの場合は通常のお取引と区別し、インボイス制度に対応するにあたって特別な対応が必要となる場合があるため、予め取引予定のバイヤに対し、ご連絡いただきますようお願いいたします。

①適格事業者であるが、取引時点で適格請求書発行事業者登録番号が国税庁のサイトに登録されていない場合
【理由】仕入明細書の一部である「ERS請求書」に登録番号を記載する必要があるため

②取引時点で適格事業者から免税事業者に変更される場合
【理由】免税事業者の場合、仕入明細書を作成して確認を求めることができないため

③バイヤが検収すると想定される期間に適格事業者の登録有効開始日を迎えていない場合
【理由】NTTグループ会社側で適格請求書発行登録事業者としての登録有効開始日の判断ができないため

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

改訂履歴

項番	改訂日	改訂箇所	改訂概要	版数
1	2023/9/8	--	第1版展開	1.0
2	2024/4/1	全般 P.3 P.6 P.8	・全般に改訂日時点に合わせた表現に見直し ・「適格請求書発行事業者登録番号」の設定について確認を要する資料を追加記載 【改定前】 SAP Business Network(Ariba Network)で請求書を作成されている皆様へ 【改定後】 SAP Business Network(Ariba Network)で請求書を作成されている皆様へ 「適格請求書発行事業者登録番号」 表示不具合の回避方法 ・SAP不具合事象（※）の影響回避のため、適格請求書６要件に関する解釈を変更 ＜バイヤ側Ariba B&I請求確認画面の該当項目名の変更＞ 【改訂前】 ①送信者、サプライヤのGST ID 【改訂後】 ①サプライヤ、サプライヤのGST ID ＜バイヤ側Ariba B&I請求確認画面の「適格請求書の発行事業者の氏名又は名称」の該当箇所変更＞ 【改訂前】「付加価値税（VAT）詳細」の送信者欄に表示される名称 【改訂後】「サプライヤ」欄に表示される名称 ＜「サプライヤ」欄に関する注釈を追記＞ （※）SAP不具合事象の概要 サプライヤがSBNの会社プロファイルにて「住所」を設定した際に、同じ住所表記を別のサプライヤが 先行して設定していた場合、請求登録後のバイヤ側Ariba B&I請求確認画面に本来表示されるべき サプライヤ名が表示されず、同じ住所表記を先行して設定していた他社名が表示される不具合	1.1
3	2025/8/18	P.3	・参考資料名等修正	1.2
4	2026/11/4	全体	・UI変更に伴う更新	2.0
5	2026/11/11	P.21 P.22	・税カテゴリを初期値（デフォルト）のまま請求登録を進めた場合にエラーが表示される旨の記載に修正 ・ページ削除し、合計28ページへ変更	2.1

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.